



## 無駄を減らすことから

藤村 コノエ

10年前の大地震の痕跡が消えない中、熊本でまた大きな地震が発生し、現時点で40名近くの方が亡くなられ、多くの方が被災され、暑さも含めて劣悪な環境での生活を強いられている。心からお見舞い申し上げます。一方、自然災害の多い日本では、地震も人災ともいうべき温暖化による猛暑や豪雨などもすでに予測されていたが、政府の対応はいつも事が起きてからであり、予測できたことへの対応の遅さは政府の怠慢と言わざるを得ない。

ところで、この夏は40度以上の酷暑日が各地で記録され、国内だけでなくヨーロッパ各地でも灼熱地獄が続き、命の危機が叫ばれる時代になった。にもかかわらず国内では、相変わらずの経済優先の開発行為が続いている。例えば、大量のエネルギーを使い経済性や安全性も危惧されるリニア新幹線に静岡県知事がゴーサインを出し、大量のエネルギーと水を使い環境負荷も大きいデータセンターが各地に立地され、住民との間でトラブルも多発している。私の住む地域でも武蔵小杉の高層

マンション群開発の影響で、災害時の対応や排熱による周辺温度の上昇、数十年後コンクリートの塊になることなどお構いなしにマンションの乱立が続いている。

国立社会保障・人口問題研究所による最新の「日本の将来推計人口（令和5年推計）」では、日本の人口減少は続き、2070年には約8,700万人になると予測されている。また高齢化はさらに進み、65歳以上が総人口に占める割合は2070年に38.7%に達する見通しだという。

一方、国連が発表した「世界幸福度ランキング2026年版」で、日本の順位は世界147カ国中61位で、G7の中では最も低い順位である。健康水準や経済的豊かさは上位に位置するものの、満足感や社会への寛容さのなさが低位の要因とされている。

このように、国内人口は減り、幸福感もあまり得られなくなった日本で、全ての生命と社会経済活動の基盤である環境の悪化をますます助長する開発行為が依然として進んでおり、現政権も命の危機対策よりも経済対策を

優先する積極財政を振りかざしている。そうした中、5月号風の『「引き算」の勧め』に次いで、今回は消費の無駄を減らすことも勧めたい。勿論そんな悠長なことで気候危機は止まらないことは承知しているが、政治に期待できない現状では、政策提言は続けつつも、私たち自身でできることからやるしかない。

### ○生産工程での無駄を無くす

分野別のCO<sub>2</sub>排出量が最も多い産業分門のうち、製造業での無駄が気になっている。食品ロスはよく知られているが、昨年見学したソーラーパネルのリサイクル工場で見えたパネルが山積みされていたのを見たからだ。正規ルートでのリサイクルであり問題はないそうだが、新品の廃棄・リサイクルは製造から処理・処分までのトータルなエネルギー消費量などを考えると、無駄が多い。そしてその原因が、食品の3分の1ルール、白物家電の型落ちに関する商習慣など、業界内に残る大量生産時代の様々な悪しき慣習にあるとすれば、生産調整を的確に行うとともに、まずは生産工程での資源やエネルギーの無駄を削減するためにこれら商慣習なるものを早急に改善すべきだと思う。経営者「環境力」大賞を受賞した武州工業の林英夫相談役は、生産工程での無駄を無くしたことで、環境だけでなく経済的にも非常に有効だったと常々話されており、従業員にもそれが徹底されている。

### ○インターネット消費の無駄を無くす

消費者として無駄を省く場面は多々あるが、特に最近感じるのはインターネット使用の無駄だ。スマホで映画を見るだけでもエネルギーを消費するが、特にAIの使用はその比ではないほどの環境負荷だ(詳細は本号で明日香氏が解説)。

この業界は猛スピードで変化しており、素人の私にはその仕組みは説明できない。しかし、常に新たな市場を開拓することで利潤を

得てきた従来の資本主義が限界にきていることを悟った人たちは、次なる市場としてIT(情報技術)に目を付け、その基盤を活用してAIなるものを開発した。そして、自ら商品を作って売るなど新たな価値を生むわけではない彼らは、人と人、人と企業、人とデータが交差する場としてプラットフォームを作り、そこを通るお金や広告費から手数料を取り、巨額の利益を得て、株式時価総額で常に世界の上位を占める産業にまで成長している。GAFAMと言われる人たちだ。

実は私も、先日勧められて生成AIの一つであるGeminiを試してみたが、その対応のすばらしさに、「これはハマる」と直感したと同時に、これがさらに広がれば人との対話が不要になり、いずれ人間も社会も壊れしまうのではと怖くもなった。しかし現実には、多くの人がAIを使い、膨大なエネルギーとその冷却のための膨大な水を消費している。そして、無償で知識と情報を提供し、結果的に莫大な利益を彼らに与えている。しかも、多くの人、企業、国家までがこの裏の仕組みを意識することなく、その使用に長い時間を費やしている。

勿論ITやそれを基盤としたAIなど全てを否定するわけではない。しかし、人類の生存に必ずしも必要ではないこれらが、人類の生存に必要な環境に計り知れない負荷を与えていること、さらに、人間の思考を鈍化・停止させ、地域での摩擦を誘発し、経済格差を助長していることは事実である。

そんな折、米国のAI開発企業トップらはこのままいけば制御不能になるとして、AI開発ペースを緩める国際的取組を米連邦政府に要請した。間に合うのだろうかと思うが、少なくとも私たちは、何気ない使用が、環境を破壊し、人や社会を狂わせる可能性も大いにあることをしっかり認識し、生存する上で本当に大切なものを失わないよう、せめて、無駄な使用はやめるべきだと思う。